科目区分	専門分野	授業科目	看護研究論
講師名		実務経験の有無	有
単位数（時間）	1 単位（30 時間）	開講年次	2 年次　第 2 学期
授業概要 ＊講師からのメッセージ	看護における研究の意義や楽しさを学生の皆さんに伝えたいと思います。また、多くの研究報告がなされていますが、その研究を読む力を身につけ、自らの看護実践に活かしていけるような力も養いたいと思っています。		

目的：看護を行うにあたり研究的な視点で科学的、理論的におこなっていくことの必要性を理解する

目標：1. 看護研究の目的と意義が理解できる

2. 看護研究の基礎が理解できる

回	授　業　内　容	授業方法
1	１．看護研究とは １）看護研究の意味　２）研究に必要な基礎的知識　３）研究方法の種類	講義
2	２．看護研究の種類と方法 １）研究の領域を大別した研究方法 ２）導き出し方の違いによる研究方法 ３）データの性質の違いによる研究方法 ４）データ収集方法の違いによる研究方法 ５）研究手法からみた研究方法	講義
3	３．様々な研究手法と実際 １）量的研究　（１）記述統計と推測統計　（２）仮説、独立変数と従属変数	講義
4	２）質的研究 （１）質的研究で明らかにできること （２）質的研究の主な手法 カテゴライズとネーミング ３）ケーススタディ　４）その他の研究手法	講義
5	４．文献とは何か １）文献検索の実際（一次文献、二次文献） ２）自分の興味のある内容を検索してみよう ５．研究のプロセス １）インターネットを利用した文献検索と活用	講義 文献検索演習
6～7	５．研究のプロセス ２）テーマの設定と計画書の作成　３）研究における倫理的配慮 ４）データの収集と分析　５）結果の表現方法	講義
8	６．研究成果の発表 １）発表の場 ２）発表の仕方、効果的な発表（プレゼンテーション）	講義
9	７．論文を読んでみよう 過去の研究論文を読み、論文の読み方を知り、看護における研究成果を知る	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ
10	８．看護理論とは １）理論の構成要素や種類（広範囲理論・小範囲理論・中範囲理論） ２）看護理論の変遷：看護理論の背景・意義 ３）中範囲理論の看護実践への活用	講義
11 12 13	９．主な看護理論の構成概念とその活用（グループワーク） １）ナイチンゲール　２）ヘンダーソン　３）ウィーデンバック　４）オレム ５）ペプロウ　６）トラベルビー　７）ロジャーズ　８）ワトソン <u>グループワーク</u> 11・12 回：看護の主要概念、理論の形成された過程（背景）、 事例への活用について調べ学習 13 回　　：発表	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 発表会
14 15（45 分）	10. ケーススタディを知ろう	講義・演習
16（45 分）	終了試験	
評価方法	筆記試験（80 点）、文献検索・文献検討の課題レポート（20 点）　　評価基準参照	
テキスト	照林社：ひとりで学べる看護研究 照林社：わかりやすいケーススタディの進め方 サイオ出版：実践に生かす看護理論 19 学研：看護診断のためのよくわかる中範囲理論	
備考		